

サイパン島青少年団との交流

滋賀県の寺院三寶菴さんぼうえんの栢木寛照住職が、反戦平和の願いから日本との交流を続けているサイパン島の子どもたち十五人とツデラ市長らが、二月七日南丹市を訪れました。昭和六十二年から毎年この時期にサイパン島から旧園部町を訪れており、今回で二十四回目となります。

一行は、湖池屋園部工場の見学の後、南丹市国際交流会館で開催した交流会に参加しました。

交流会には地元の小・中学生や英会話



▲仲良くなってみんな一緒に記念撮影

教室の生徒らおよそ二十人が集まり、コマやけん玉など日本の遊びを一緒に楽しみました。また、参加者を代表して殿田中学校三年の久世早紀さん、伊藤百合さん、森木春香さん、中川温子さんが、「みなさんにお会いできることを楽しみにしていました」と歓迎のあいさつを英語で行い、サイパン島の子どもたちからは得意のダンスも披露され、言葉の壁を越えた楽しいひと時を過ごしました。

◀日本の遊びを一緒に楽しみました



南丹市情報センターの自主制作番組が優秀賞を受賞

— 全国自主放送番組制作コンクール —

全国有線テレビ協議会主催の全国自主放送番組制作コンクールで、南丹市情報センターの自主制作番組『ふるさと西田 魚の観察会』が（二十八テレビ局）五十九作品の中から優秀賞に選ばれ、二月十六日、全国町村会館で行われた表彰式に内藤智子アナウンサーが出席しました。

この作品は、毎週一回のニュース番組で取り組んでいる特集の一つで、多くの淡水魚が生息している環境を残して



▲表彰を受けた内藤アナウンサー

いきたいと願う、八木町西田地区の子どもたちや地域の皆さんの取り組みを紹介したもので、南丹市情報センターでは、昨年度も「ここはいつもほかにかぼか 楽しむ心いつも二人で」という作品が入賞しています。二年連続の受賞に、内藤さんは、「今回の受賞を励みに、より身近な情報発信基地として制作技術はもとより、地域活性化を担う番組作りを目指していきたい」と語っていました。



▲受賞作品『ふるさと西田 魚の観察会』の取材風景